

木津川市地域公共交通網形成計画記載事業の事業評価について

平成27年3月に策定した、木津川市地域公共交通網形成計画(以下「形成計画」という。)に基づく事業について、平成29年度における事業の実施状況、効果や課題等を検証するため、別紙のとおり評価シートを作成しました。

【評価シートの記載項目】

1. 事業計画
形成計画で定めている7つの施策を記載
2. 事業主体
形成計画で事業毎に定めている事業主体を全て記載
3. 事業関係者
各事業に係る機関、事業者名を記載
4. 事業目標
形成計画で事業毎に定めている事業目標を全て記載
5. 事業内容
平成29年度中に実施した事業内容を記載
6. 課題と評価
平成29年度事業における主な取り組み成果、課題を記載

■計画事業評価シート

事業計画	施策1 コミュニティバスの運行	
事業主体	木津川市	
事業関係者	奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社、東洋タクシー株式会社	
事業目標	年間利用者数 300,000人（平成31年度）	
事業内容	H29	<ul style="list-style-type: none"> ・木津地域においてコミュニティバス（きのつバス）を運行 ・加茂地域においてコミュニティバス（かもバス）を運行 ・山城地域においてコミュニティバス（やましろバス）を運行

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・木津川市コミュニティバスの運行を継続したことで、地域住民の移動手段を確保することが出来た。 ・平成29年度全体の利用者数は、261,357人で、前年度と比較して、1,475人増加した。 ・運行事業者からの提案に基づき、バス利用者の利便性向上を図るため、山城線の延伸、停留所の新設を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の利用者数は増加したものの、一部路線では減少が続いており、路線別の利用促進策が求められる。 ・現行の運行ルートが最適であるか、検討する必要がある。 ・「コミュニティバス等の見直し・廃止・新設のガイドライン」に基づき、利用実態を確認し、必要に応じてサービスレベルの見直し等を検討する。
人口構造の変化への対応		
予約型乗合タクシーの利用促進		
過度に自家用車に頼らない生活の提案		

事業計画	施策2 乗継利便性の向上	
事業主体	奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社、東洋タクシー株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会	
事業関係者	西日本旅客鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社	
事業目標	鉄道ダイヤ改正時に随時実施	
事業内容	H29	<p>【路線バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月1日、ダイヤ改正を実施した。 ・平成30年3月17日、ダイヤ改正を実施した。 <p>【コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道ダイヤ改正に伴うダイヤ見直しを検討した。

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への対応	<p>【路線バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月1日、朝の梅美台・州見台～高の原駅系統の便を一部急行系統に変更。また、南加茂台五丁目～加茂駅系統の一部を京内橋まで延伸。 ・鉄道（JR・近鉄）が平成30年3月17日にダイヤ改正を実施に合わせてダイヤ見直しを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パターンダイヤ及び鉄道の発着時刻に合わせた運行のため、全便において乗換え利便性が高い接続は難しいが、数分の時間差で乗継ぎができないものもあり、鉄道のダイヤ改正がない場合においてもダイヤの見直しを検討する必要がある。
利用促進施策の展開	<p>【コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道（JR・近鉄）が平成30年3月17日にダイヤ改正を実施することに伴い、バス事業者とダイヤ見直しについて検討を行い、現行どおりのダイヤで運行することを決定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道とコミュニティバスだけでなく、路線バスとの接続も考慮する必要がある。

事業計画	施策3 車両の利便性の向上	
事業主体	木津川市、奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社、東洋タクシー株式会社	
事業関係者		
事業目標	車両更新時に導入の検討	
事業内容	H29	<p>【路線バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の路線バス運行を担当する平常営業所において、ノンステップバス（小型）4台を導入した。 <p>【コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノンステップバス（小型）4台を導入した。

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス、コミュニティバスともに、車両の更新を実施した。きのつバスについては、ノンステップ率100%を達成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の利便性を図るため、車両更新時にバリアフリー車両の導入やコミュニティバスの視認性を高めるためにラッピングを検討する。 また、一般路線バスについてもバリアフリー車両を導入する。
バリアフリー化の検討		

事業計画	施策4 情報提供の充実	
事業主体	奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社、東洋タクシー株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会	
事業関係者	木津川市	
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通だより：月1回発行 ・時刻表：年1回発行 ・バス標柱デザインの検討：検討数 215箇所 ・交通結節点での情報提供：市内主要施設で実施 ・ホームページによる情報提供：ポータルサイト開設 	
事業内容	H29	<p>【路線バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの位置情報を提供するサービスを開始した。 <p>【コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通だよりを毎月発行した。 ・木津川市ホームページにおいて、継続して情報を発信した。 ・コミュニティバスの路線延長、バス停の新設、ダイヤ改正等に合せて、時刻表を作成した。

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・近鉄奈良駅、JR奈良駅、高の原駅、祝園駅、山田川駅を起点とするバス路線に、バスの位置情報を提供するサービスを開始した。 ・毎月発行する公共交通だよりに収支、利用状況及び沿線観光情報等を掲載し、公共交通利用の啓発や情報発信ができた。 ・市ホームページにコミュニティバスの情報を掲載することで、観光利用者や市外の方への情報を発信することができた。 ・利用者意見を反映した時刻表を作成し、広報紙への折込み、公共施設や観光施設に配架するなど、一層の利用促進を図ることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供の内容がマンネリ化してきており、新たな情報の提供に取り組む必要がある。 ・きのつバス利用者の減少が続いていることから、地域の特性に応じた調査、利用促進が重要である。
人口構造の変化への対応		
予約型乗合タクシーの利用促進		
利用促進施策の展開		
多くの媒体を通じたPR		
過度に自家用車に頼らない生活の提案		
観光施設でのPR		
地域公共交通を守り育てる意識の醸成		

事業計画	施策5 利用機会の提供	
事業主体	奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社、東洋タクシー株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会	
事業関係者	木津川市	
事業目標	乗り物体験学習：市内小学校で年1回実施 1日フリー乗車券の発行：年間2,000枚販売	
事業内容	H29	【コミュニティバス】 <ul style="list-style-type: none"> 市内の小学校を対象とした乗り物体験学習（相楽小学校）を実施した。 1日フリー乗車券の販売を継続した。 観光協会、観光団体と連携し、利用促進を行った。

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への対応	<ul style="list-style-type: none"> 1日フリー乗車券を継続して販売することで、乗継利便性の維持、向上が図れた。平成29年度は4,015枚の販売があり、過去最大の販売枚数を記録した。 観光協会や観光団体と連携し、各ツアーや施設の案内時に1日フリー乗車券の紹介、販売を行った。 市立小学校で乗り物体験学習を実施し、児童への公共交通の利用及びバス乗車時のマナーの啓発が出来た。 公共交通だよりに沿線の観光情報を掲載し、観光利用促進を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 1日フリー乗車券の販売枚数は、毎年増加しているものの、販売場所や利用方法がわからないといった意見を多く頂いた。今後、販売場所への案内方法や利用方法の周知等の検討が必要である。また、駅周辺で販売場所がない地域もあるため、公共施設や各店舗等に販売を依頼する必要がある。
人口構造の変化への対応		
予約型乗合タクシーの利用促進		
利用促進施策の展開		
多くの媒体を通じたPR		
過度に自家用車に頼らない生活の提案		
地域公共交通を守り育てる意識の醸成		

事業計画	施策6 市民意識の変革	
事業主体	奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社、東洋タクシー株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会	
事業関係者	木津川市	
事業目標	ワークショップ座談会の開催：年1回	
事業内容	H29	【コミュニティバス】 ・南加茂台地域住民を対象としたワークショップを開催した。

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・南加茂台地域住民を対象に、ワークショップを開催し、地域公共交通やコミバスに関する意見交換を行うとともに、ワークショップでの意見を参考に、「公共交通だより」で情報発信を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識の向上に向け、バス利用が少ない地域での説明会やワークショップを開催し、実施可能な意見・施策に取り組んでいく必要がある。
予約型乗合タクシーの利用促進		
利用促進施策の展開		
過度に自家用車に頼らない生活の提案		
地域公共交通を守り育てる意識の醸成		

事業計画	施策7 魅力の発信	
事業主体	奈良交通株式会社、株式会社ウイング、加茂タクシー株式会社、東洋タクシー株式会社、木津川市地域公共交通総合連携協議会	
事業関係者	木津川市	
事業目標	急行バスと連携したPR	
事業内容	H29	<p>【路線バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR奈良駅西口～浄瑠璃寺間の急行バスを運行、急行バスで利用可能な「世界遺産1Day Pass」を販売した。 <p>【コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かもバス当尾線において、急行バスとの接続を考慮したダイヤによる運行を継続した。 ・当尾地域の寺社である浄瑠璃寺や岩船寺に案内板を設置し、急行バスと連携した地域内の回遊を案内している。

【課題と評価】

課題と評価		
木津川市における地域公共交通の課題	主な取組成果	今後の課題
持続可能な公共交通への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・急行バスとの接続を図ることで、回遊性を高め、コミュニティバスと急行バスの利用の相乗効果を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当尾線の利用者は増加したが、更なる利用促進のため、イベントの発信や急行バスと連携したPRを強化する必要がある。
利用促進施策の展開		
多くの媒体を通じたPR		
観光施設でのPR		